

岡山県感染症週報 2012 年 第 42 週 (10 月 15 日～ 10 月 21 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2012 年 第 42 週 (10/15～ 10/21) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 40 週 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (30 代 男)
 第 42 週 2 類感染症 結核 1 名 (90 代 女)
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O103: 生徒 男)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (70 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○RS ウイルス感染症は、前週より増加しました。

【第 43 週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O165: 幼児 女) の発生がありました。

- 腸管出血性大腸菌感染症**は、第 42 週は 1 名の患者発生があり、2012 年の第 1～42 週までの累計報告数は 154 名になりました。岡山県では、「**腸管出血性大腸菌感染症警報**」を県下全域に発令し、ひきつづき注意を呼びかけています。流行のピークの時期は過ぎたものの、今後も予防対策を行うことが重要です。詳しい発生状況などは、岡山県感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症警報 発令中!』](#) をご覧ください。
- RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、前週より増加しました (定点あたり 1.17 → 1.26 人)。第 35 週 (8 月下旬) 以降増加がつづいており、調査が始まった 2004 年以降の同時期と比較し、患者が多い状態です。発生状況や症状など、詳しくは『**今週の注目感染症**』をご覧ください。
- 風しん**は、全国統計で 10 月 8～14 日の一週間に 43 名の届出があり、2012 年の累計報告数は 10 月 17 日までに 1,833 名になりました。昨年 1 年間の累積報告 (371 名) と比較して、4.9 倍になっています。依然として関東・近畿地方で患者発生がつづいており、男女別では男性が 1,388 名、女性が 445 名であり、男性が女性の約 3 倍報告されています。患者は、ワクチン未接種者が多いと考えられる 20～40 代の成人男性で、この年齢層で患者全体の 62% を占めています。岡山県では、2012 年はこれまでに 20～40 代の男性 6 名の届出がありました。

([全国風しん発生動向調査国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センター HP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RS ウイルス感染症		★★★★
咽頭結膜熱		★	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		★

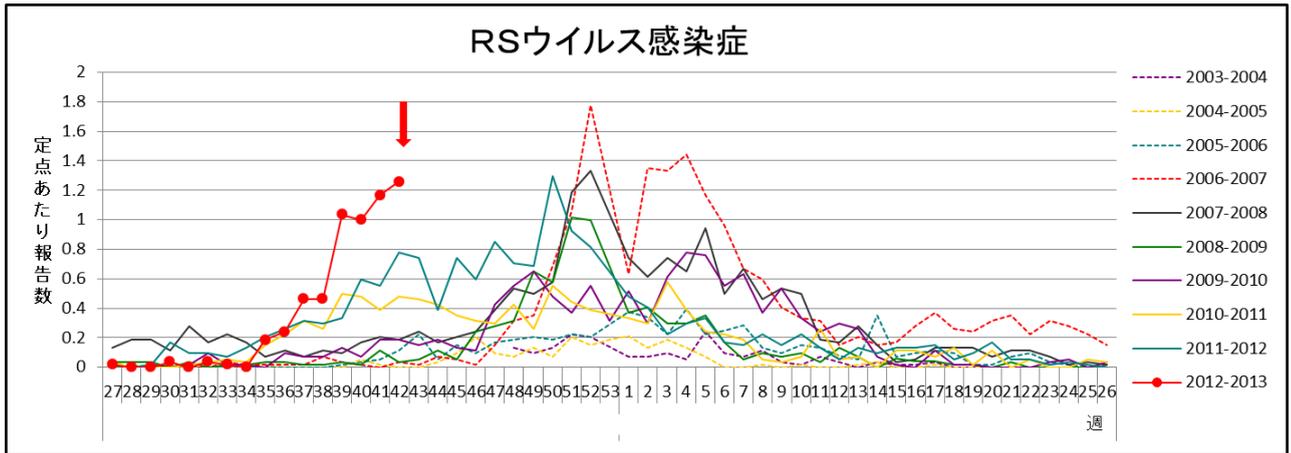
【記号の説明】

前週からの推移：
 : 2 倍以上の減少 : 1.1～2 倍未満の減少 : 1.1 未満の増減
 : 1.1～2 倍未満の増加 : 2 倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い
 ※今週の流行状況を過去 5 年間と比較し、5 段階で表示しています。

今週の注目感染症

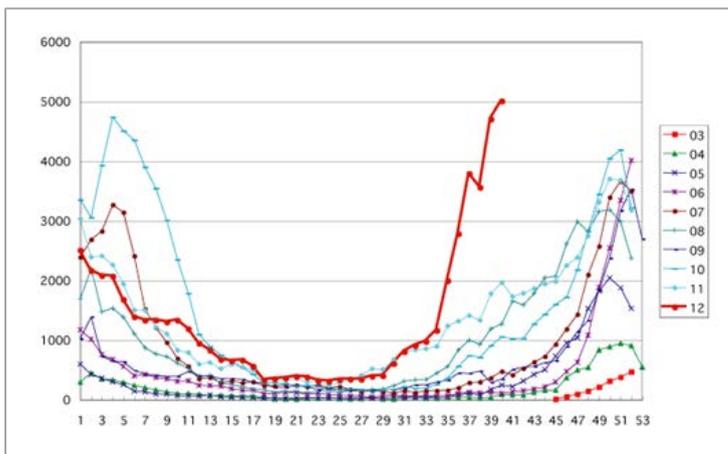
1. RSウイルス感染症



※RSウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

RSウイルス感染症は、前週より増加し（定点あたり 1.17 → 1.26 人）、2004 年の調査開始以降の同時期と比較し、患者が多い状態が続いています。地域別では、岡山市（定点あたり 3.07 → 3.21 人）や倉敷市（1.36 → 1.64 人）の県南部で患者が多く、この地域で患者の全体の 92% を占めています。患者は 1 歳以下の乳幼児が中心です。2012 年第 27~42 週における累積報告数の年齢別割合は、0 歳が 41%、1 歳が 42%、2 歳が 8% であり、1 歳以下で全体の 83% を占めています。

全国でも、夏頃から九州を中心に患者が増加し始め、その後全国に拡大しています。第 41 週速報値では、全国的に減少が見られるものの、今後も動向に注意が必要です。

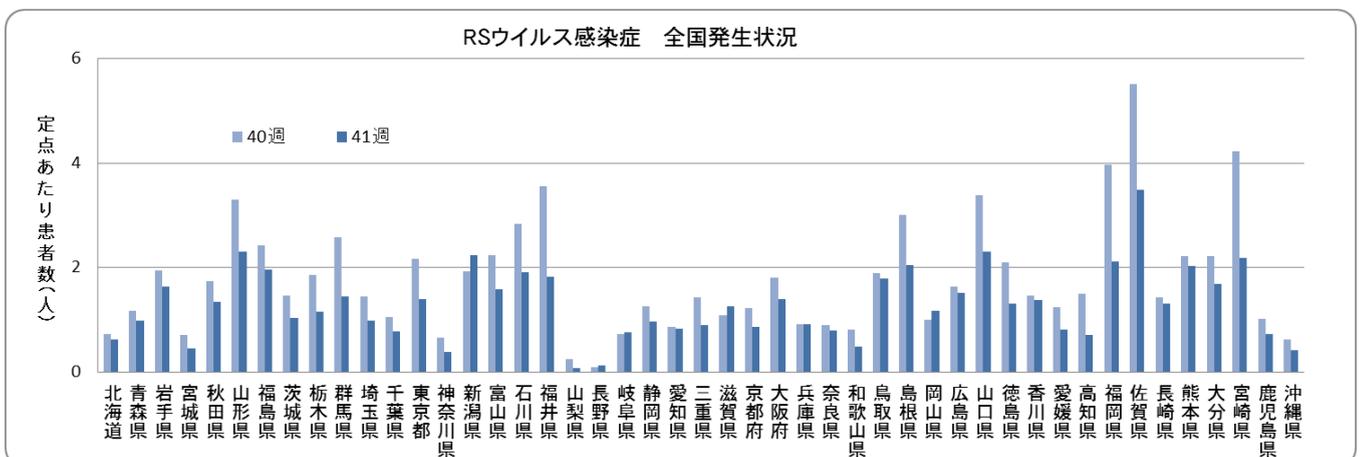


全国 RS ウイルス感染症 過去との比較グラフ 第 40 週
(国立感染症情報センター HP より)

【RS ウイルス感染症とは】

RSウイルスによる乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす急性呼吸器感染症です。流行の中心は 1 歳以下の乳幼児で、乳幼児の肺炎の 50%、細気管支炎の 50~90% を占めるとされています。2 歳までに、ほぼ 100% の子供がこのウイルスの初感染を受けるといわれ、年齢を問わず、生涯にわたり感染を繰り返しますが、通常年齢が上がるにつれ、重症化することが少なくなります。そのため、大人がかかっていることに気がつかず、子供にうつしてしまうことがありますので注意して下さい。

(国立感染症研究所 感染症の話「RS ウイルス感染症」)



RSウイルス感染症は、症状の重症化や合併症から、特に乳幼児期において非常に注意が必要です。お子さんの体調が悪い時は、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2012年 42週 (2012/10/15～2012/10/21)

2012年10月25日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	68	1.26	45	3.21	18	1.64	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	4	0.07	-	-	2	0.18	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	6	0.43	5	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	182	3.37	50	3.57	41	3.73	44	4.40	15	2.14	6	1.50	5	2.50	21	3.50
水痘	23	0.43	8	0.57	7	0.64	3	0.30	5	0.71	-	-	-	-	-	-
手足口病	5	0.09	4	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	21	0.39	8	0.57	7	0.64	2	0.20	-	-	1	0.25	1	0.50	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	0.19	7	0.50	1	0.09	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	15	0.28	4	0.29	2	0.18	3	0.30	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	0.67	4	0.80	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 42週 (2012/10/15～2012/10/21)

2012年10月25日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	0.07	-	-	2	0.18	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	6	0.43	5	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	182	3.37	50	3.57	41	3.73	44	4.40	15	2.14	6	1.50	5	2.50	21	3.50
水痘	23	0.43	8	0.57	7	0.64	3	0.30	5	0.71	-	-	-	-	-	-
手足口病	5	0.09	4	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	0.19	7	0.50	1	0.09	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	15	0.28	4	0.29	2	0.18	3	0.30	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	0.67	4	0.80	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第42週 2012/10/15~2012/10/21)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

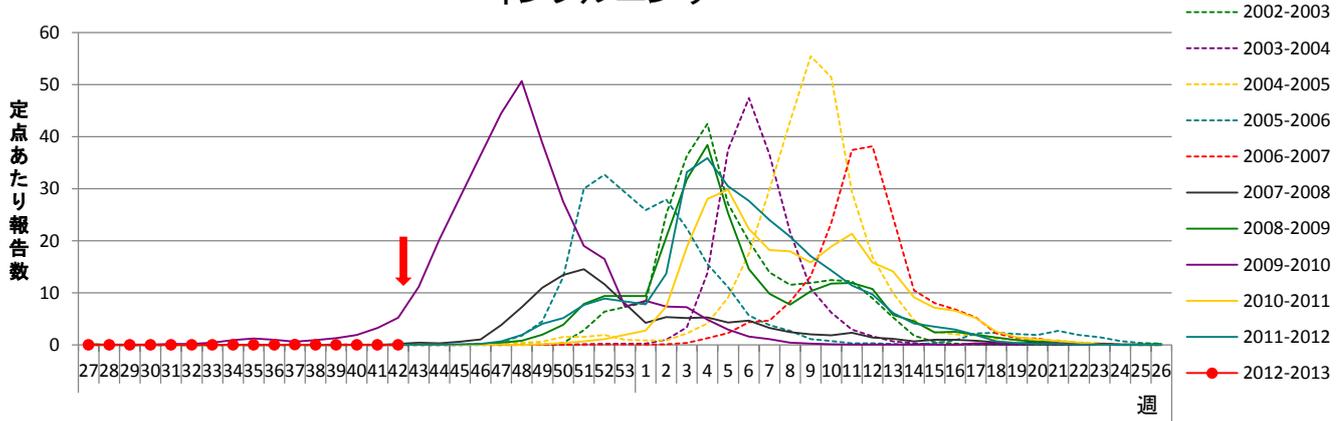
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	68	8	14	31	8	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	-	1	-	1	2	2	3	1	1	1	-	3	-	1
感染性胃腸炎	182	4	11	29	14	19	13	17	11	7	3	7	21	10	16
水痘	23	1	2	3	3	3	2	3	-	3	-	-	2	-	1
手足口病	5	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	21	-	9	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	-	2	2	4	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	15	-	-	2	3	1	2	2	1	1	1	1	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	1	2

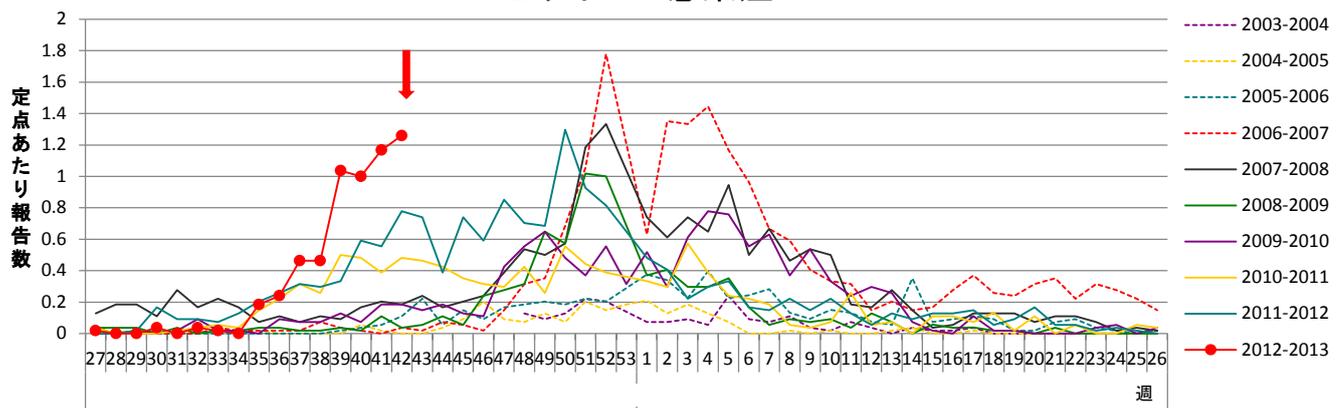
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

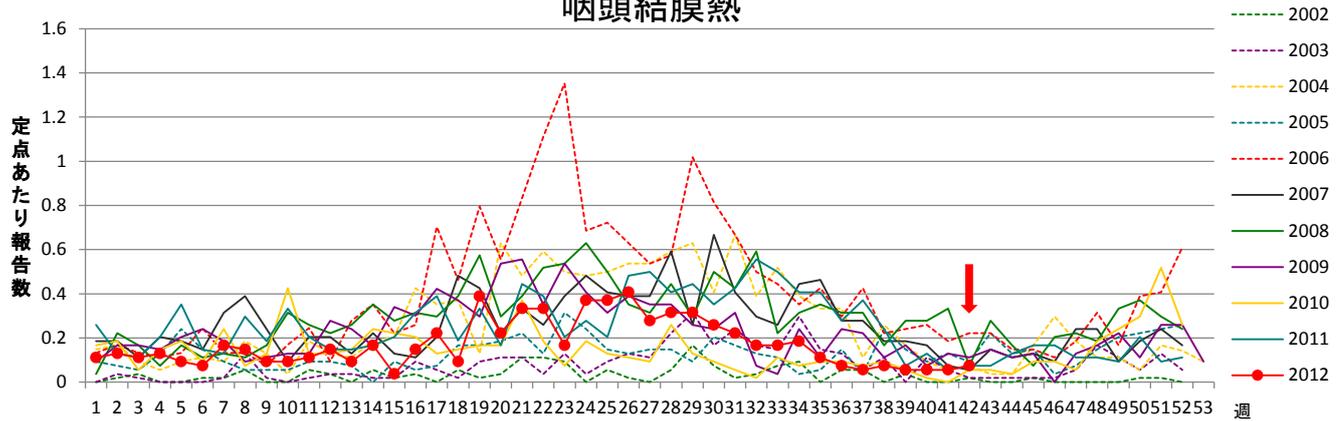
インフルエンザ



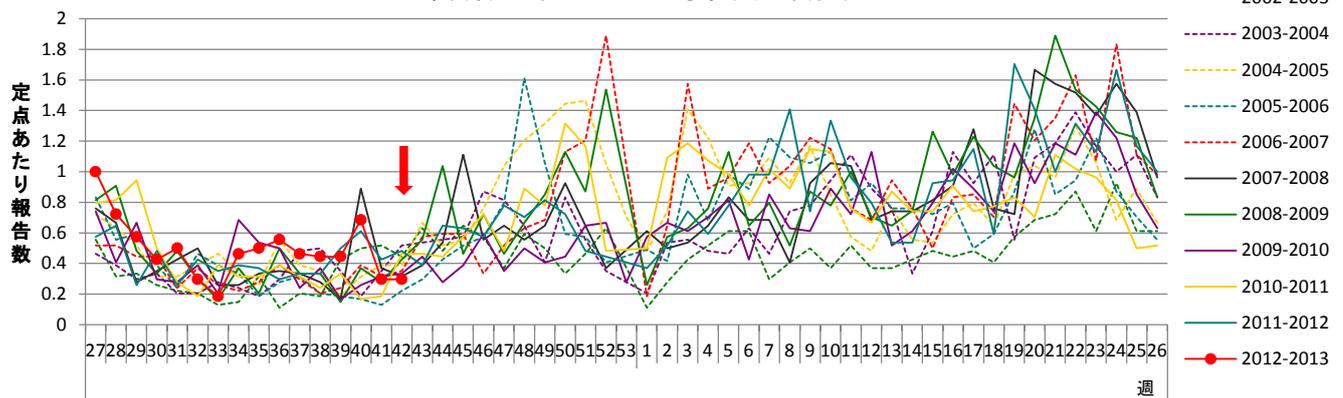
RSウイルス感染症



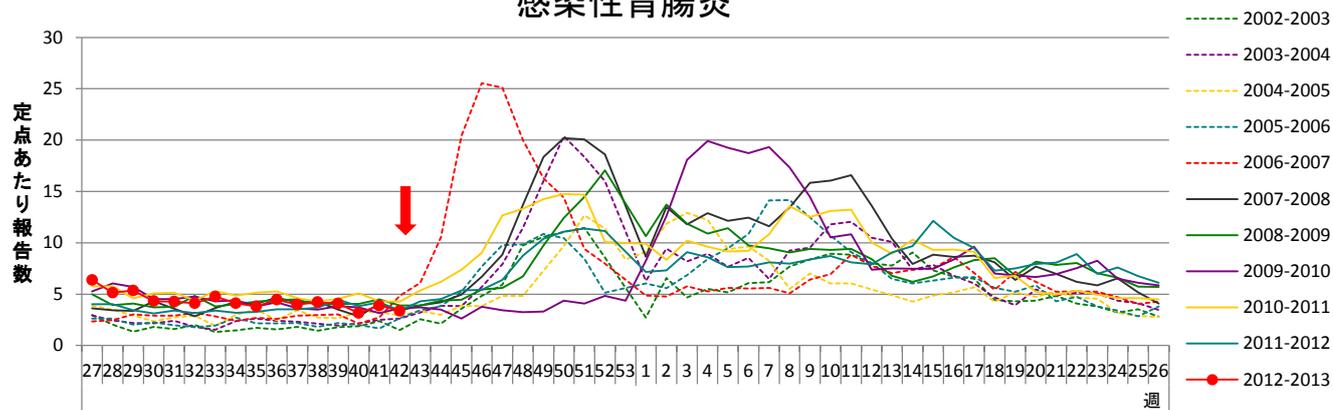
咽頭結膜熱



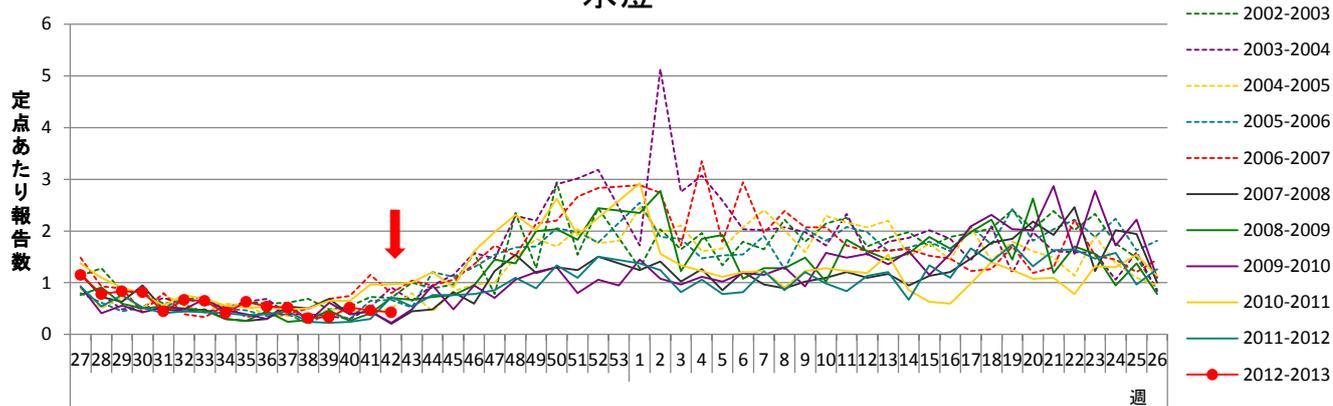
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



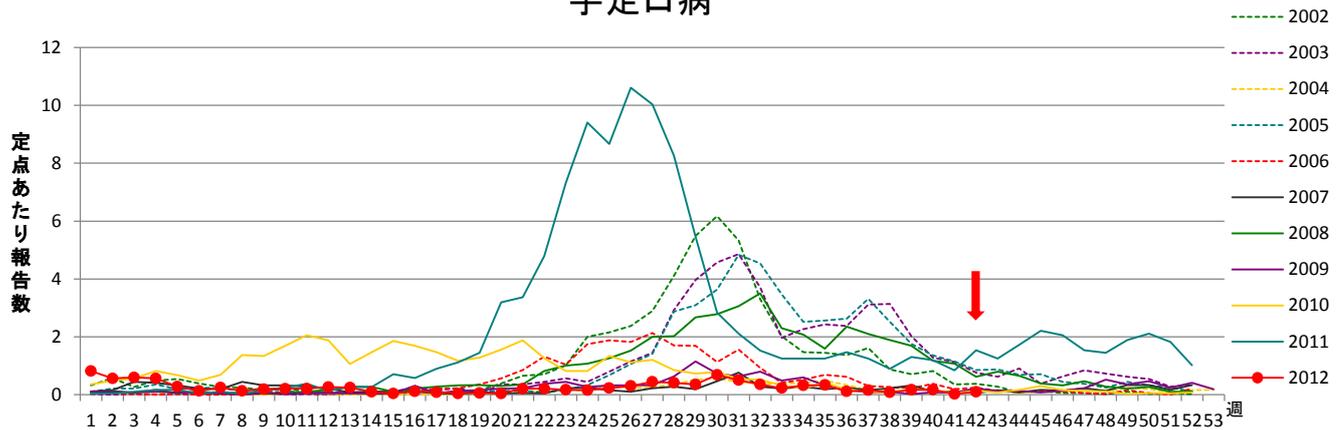
感染性胃腸炎



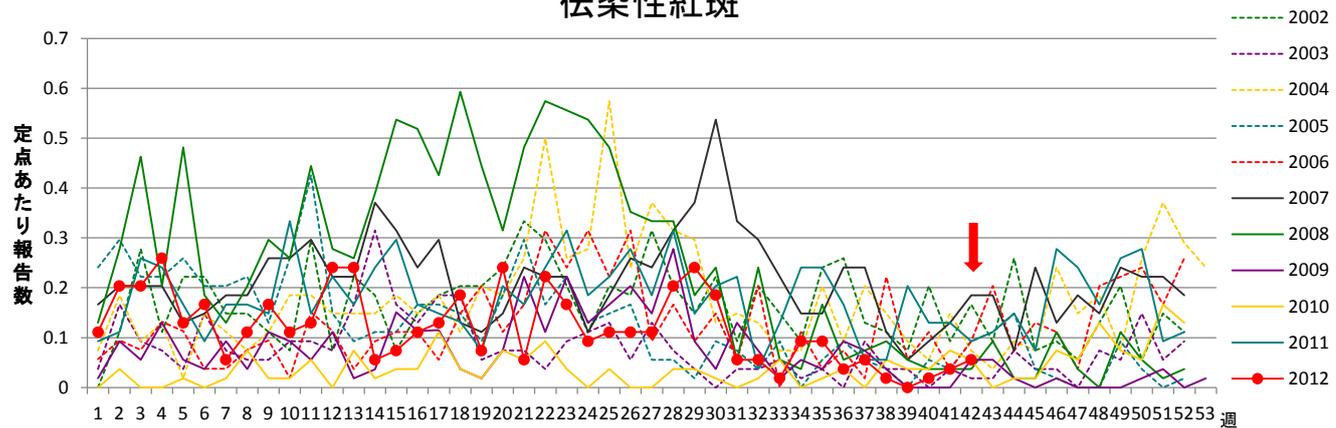
水痘



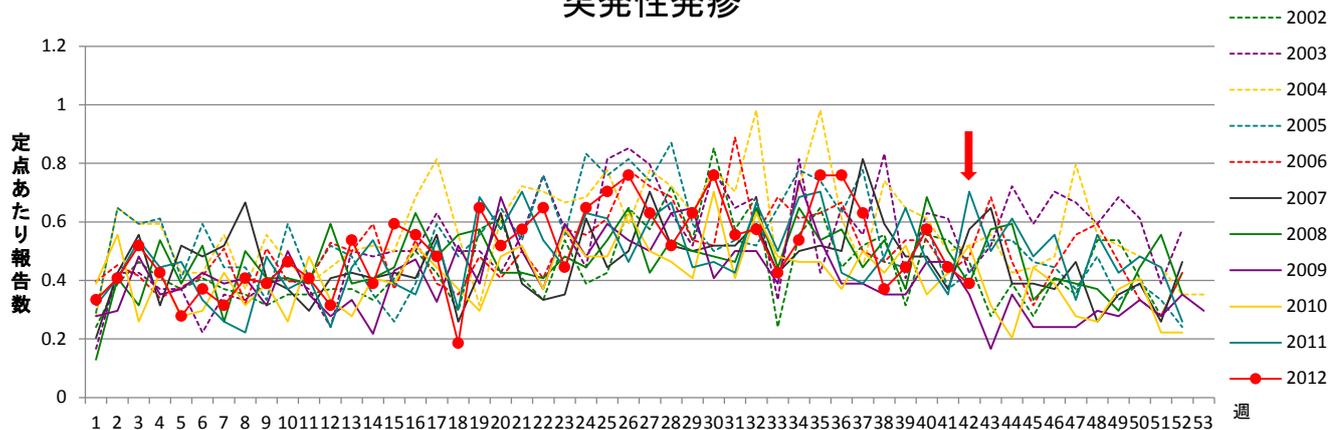
手足口病



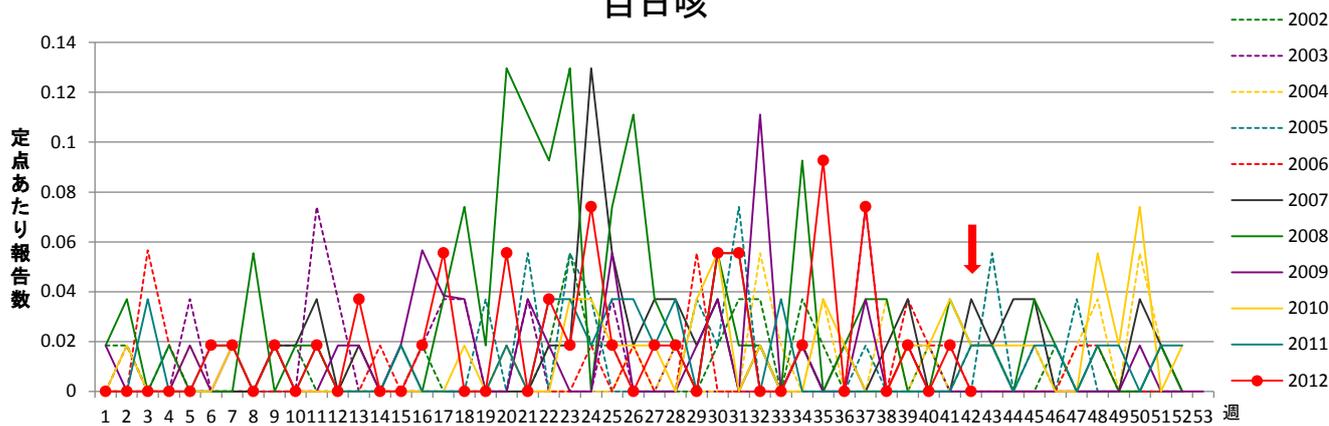
伝染性紅斑



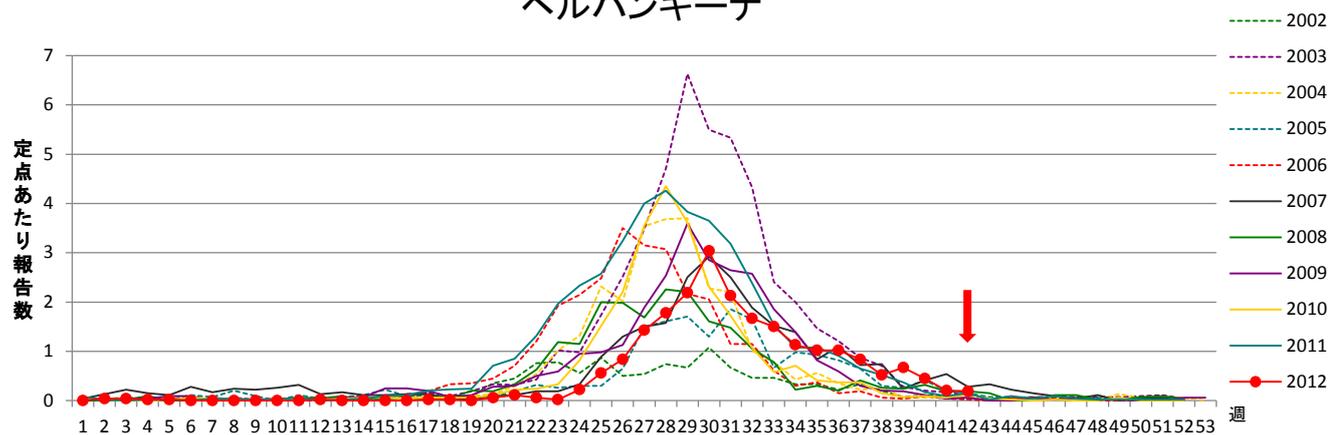
突発性発疹



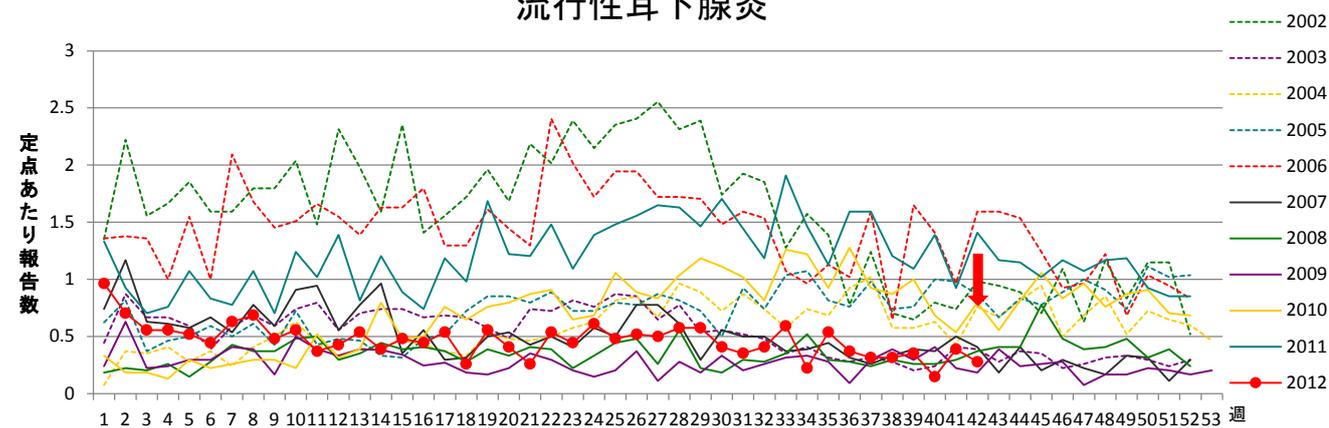
百日咳



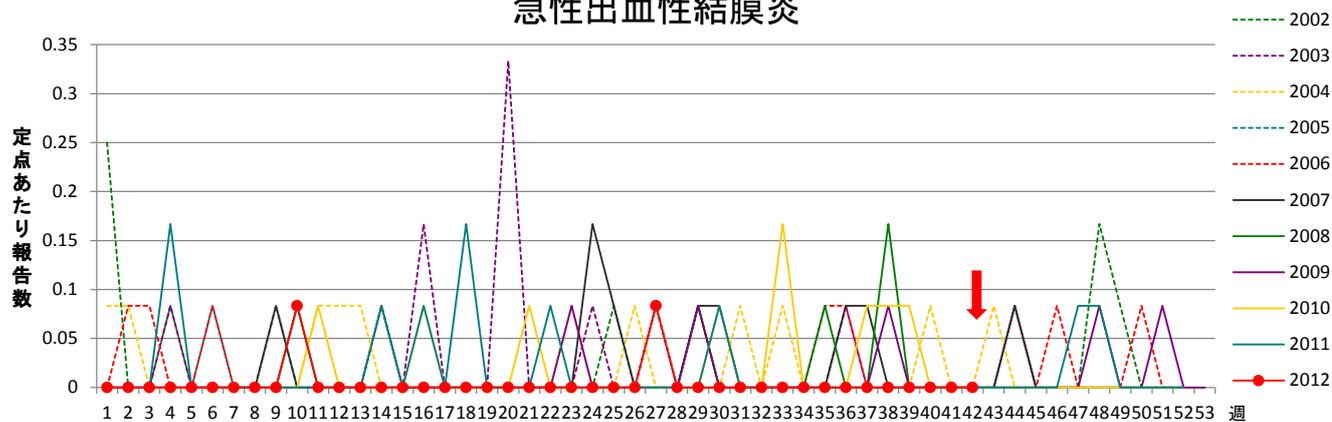
ヘルパンギーナ



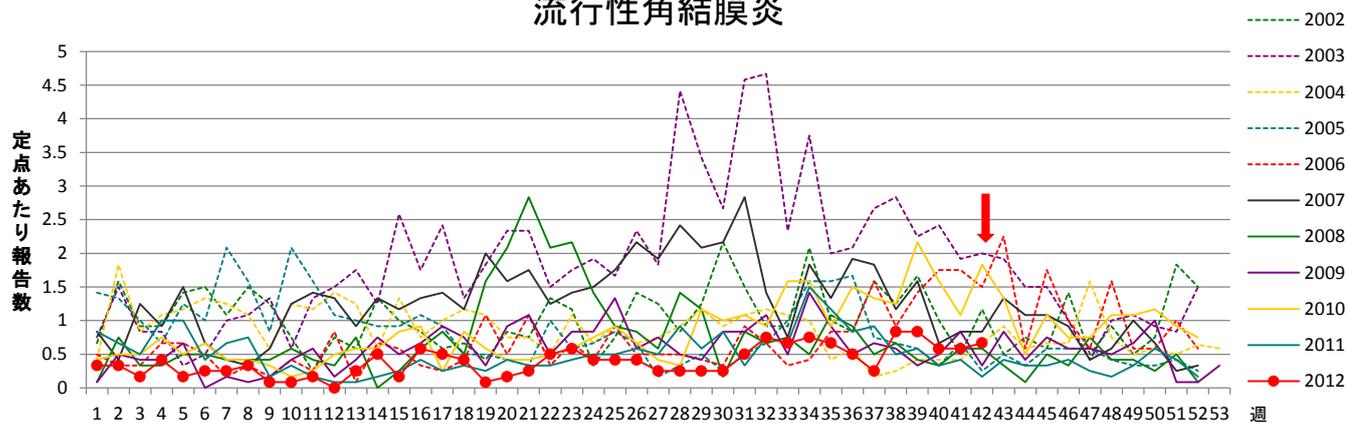
流行性耳下腺炎



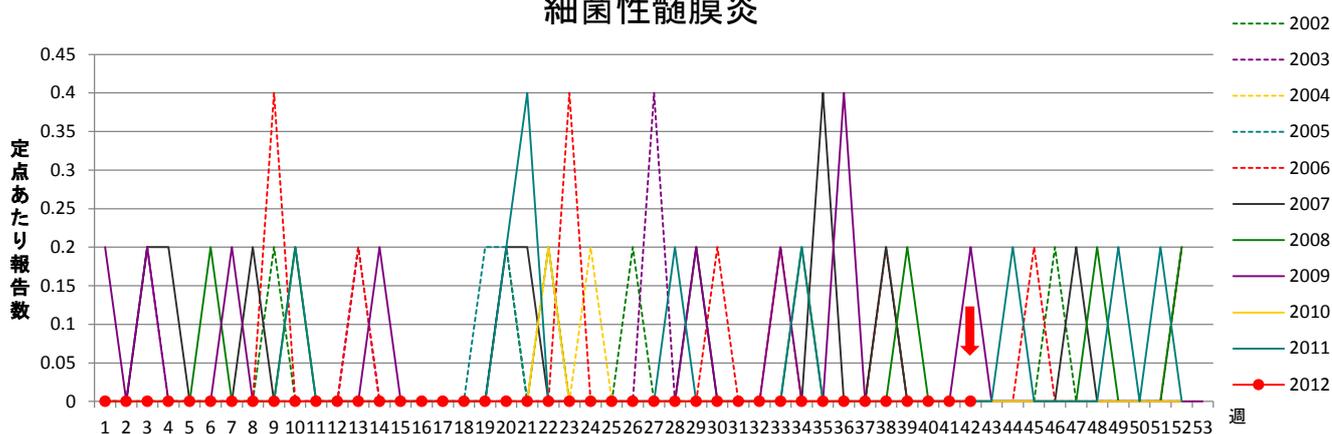
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

